

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	○身体拘束をしないケアの実践 玄関の施錠について併設の小規模多機能事業所と協力し見守り体制の下、なるべく施錠しないようにしているが大通りへ面し車通りも激しい為、検討した結果外へ出たい場合は拘束せずに外出できるようにしているが施錠は、している	施錠しない時間を設けていくか決定する	職員よりアンケートを取り施錠について、再度検討する。検討した結果を下に目標に向け取り組んでいく	12ヶ月
2	30	○かかりつけ医の受診支援 ご家族と協力しながら状況に応じて事業所でも対応し適切な医療を受けられるよう支援しているが医療機関への情報提供書の内容の見直しが必要。また、誰が誰に(ご家族の)伝えたかの記録の見直しが必要	医療機関への情報提供をより明確にする	情報提供書の見直しと誰が誰に(ご家族の)伝えたか明確に出来るよう記録を残していく	12ヶ月
3	33	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 入居前に「重度化した場合における対応の指針」の説明は行っているが終末期について「看取り」については特別な場合のみとしている為、どのようにご家族や職員間で理解が深められるか	「看取り」について職員間での理解を深めていく	勉強会を開催し「看取りケア」について学び理解を深めていく。アンケートも実施し職員の不安な点など精査し「看取りケア体制」を構築していく	12ヶ月
4	35	○災害対策 年2回避難訓練を行っている。地域の自主防災会と協定を結び施設での避難訓練へ消防団や、近隣住民の方にも参加していただいている。緊急連絡網の訓練や夜間想定のみでの避難訓練の実施が必要	年2回以上色々な場面を想定し訓練を行っていく	緊急連絡網などの訓練を含め、夜間想定や地域との緊急連絡網のシュミレーションを行っていく	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。